

リコーダー二重奏の 響きを味わおう

「ラヴァーズコンチェルト」を教材に ♪中2 音楽(器楽)♪

ツール・機能:音楽再生機能 録音・録画機能

(ファイル共有機能 学習支援ソフト 音楽編集アプリ*)

分 類:思考活動 協働活動

* ファイル共有機能, 学習支援ソフト, 音楽編集アプリは様々な種類があります。
各学校の状況に応じて選択し, 御活用ください。



ICT活用のねらい

- *1人1台端末を活用することで、模範演奏を何度も見たり聴いたりしながら、演奏に必要な知識や技能の習得を促すことができます。
- *1人1台端末を活用することで、模範演奏を聴き確かめながら表現の工夫について考えることができます。また、自分の演奏を録音・録画しながら、表現の仕方を工夫することができます。
- *1人1台端末を活用して、自分の演奏を録音・録画することで、学習の成果や課題を見いだしたり、学習の振り返りに生かしたりするなど、ポートフォリオとして学びを蓄積することができます。

学習の流れ(全3時間)

このように
活用します!

時間	主な学習の流れ	ツール・機能
1	<ul style="list-style-type: none">・「ラヴァーズコンチェルト」のパート①(主旋律)を聴き,正しい運指とリズムで演奏できるように練習する。・「ラヴァーズコンチェルト」のアルトリコーダー二重奏を聴き,曲想と音楽の構造や曲の背景について理解する。・「ラヴァーズコンチェルト」のパート②(副旋律)を,正しい運指とリズムで演奏できるように練習する。・パートの役割(主旋律・副旋律など)について理解する。	音声再生機能 録音・録画機能
2	<ul style="list-style-type: none">・模範演奏の表現の仕方について意見交流する。・「ラヴァーズコンチェルト」のパートの役割を考え,曲にふさわしい表現について工夫し,表現の仕方について,楽譜に書き込む。・ペアで練習する。	音声再生機能 録音・録画機能 学習支援ソフト 音楽編集アプリ
3	<ul style="list-style-type: none">・ペアでリハーサルを行う。・表現の仕方について書き込んだ楽譜を提示しながら,全体の前で演奏する。・録音又は録画した演奏を用いて,学習の振り返りをする。	音声再生機能 録音・録画機能 学習支援ソフト ファイル共有機能

ここがPOINT

♪ 音声再生機能の活用場面

- ・音声再生機能を活用することで、生徒自身のペースで模範演奏を聴き確かめながら、アルトリコーダーを練習したり、表現の工夫や仕方について考えたりすることが容易になります。



音源は、学習支援ソフトやファイル共有機能を活用して配信します。

○個別最適な学びが期待できますが、全体で聴く場面、各自で聴く場面など、学習活動のバランスを考えながら指導することが大切です。



イヤホン（ヘッドセットなど）を準備することをお勧めします。

ここがPOINT

♪ 録音・録画機能の活用場面

- ・録音・録画機能を活用すると、自分の演奏を客観的に聴いたり、奏法に関する課題を見付けたりするなど、表現の工夫や演奏の仕方について試行錯誤することができます。また、録音又は録画したデータを基に、教師や他の生徒にアドバイスを求めることも可能になります。



間違えないで吹けるようになったけど、あまり音色がきれいじゃないなあ。



息の強さとタンギングが強すぎるから、もう少し優しく吹いた方がいいと思うよ。



ここがPOINT



♪ 音声再生機能と録音・録画機能をより効果的に活用すると…

- ・相手の学習進度によってはペアでの練習になかなか取り組むことができない状況も予想されます。その場合、模範演奏に合わせて二重奏の練習をすることが可能になります。
- ・自分で演奏した音源を、ファイル共有機能を活用して相手と共有することで、授業以外の場面でも練習することも可能になります。



模範演奏と合わせて練習することは便利である一方、合わせにくさもあります。なぜ、合わせにくいのかを考えさせることが、アンサンブルをする上で大切なこと(ブレス、フレーズ、速度変化など)に気付かせる手立てとなります。

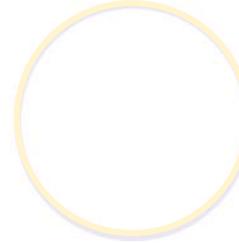


音楽編集アプリを併用すると、速度が変更できるので、生徒自身の学習状況に合わせた練習が可能となります。

○器楽だけではなく、歌唱の学習活動でも効果的な活用が期待できます!



ここがPOINT



♪ 評価をする場面で

- ・生徒は、第1時から発表会までの演奏の記録を、学習の振り返りに活用し、成果としてまとめ、次の学習へつなげる課題を見いだすことができます。
- ・教師は、ファイル共有機能を使って提出された生徒の演奏を〔指導に生かす評価〕や〔記録に残す評価〕に生かすことができます。

○録音・録画された演奏を〔記録に残す評価〕として評価する場合、実際の演奏と録音・録画された演奏の音質の違いに留意する必要があります。録音・録画された演奏のみに頼った評価とならないように、評価の計画とその方法について吟味することが大切です。